



# 2005年3月期中間決算説明資料 (2004年4月～9月)

2004.11.16

# 中間決算ハイライト

# 業績結果

営業利益15%増、経常利益105%増。

(百万円)	前中間期 Q2003/4 ~ 2003/9)	2005年3月期中間 Q2004/4 ~ 2004/9)	前期比
売上高合計	74,570	79,690	106.9%
売上総利益	33,988	39,930	117.5%
売上総利益率	45.6%	50.1%	4.5% 改善
	構成比	構成比	
販売手数料	9,204 36.6%	9,603 32.3%	104.3%
給与手当	7,607 30.2%	9,443 31.7%	124.1%
賃借料	1,466 5.8%	1,779 6.0%	121.3%
減価償却費	429 1.7%	443 1.5%	103.3%
その他の	6,449 25.6%	8,486 28.5%	131.6%
販管費合計	25,155	29,753	118.3%
営業利益	8,832	10,177	115.2%
売上営業利益率	11.8%	12.8%	0.9% 改善
営業外収益	1,536	5,955	387.7%
営業外費用	2,840	662	23.3%
経常利益	7,529	15,470	205.5%
特別利益	916	1,028	112.2%
特別損失	1,720	2,401	139.6%
中間純利益	3,718	9,229	248.2%

・法人事業、保険事業の順調な拡大により増収。  
および、売上総利益率の改善。

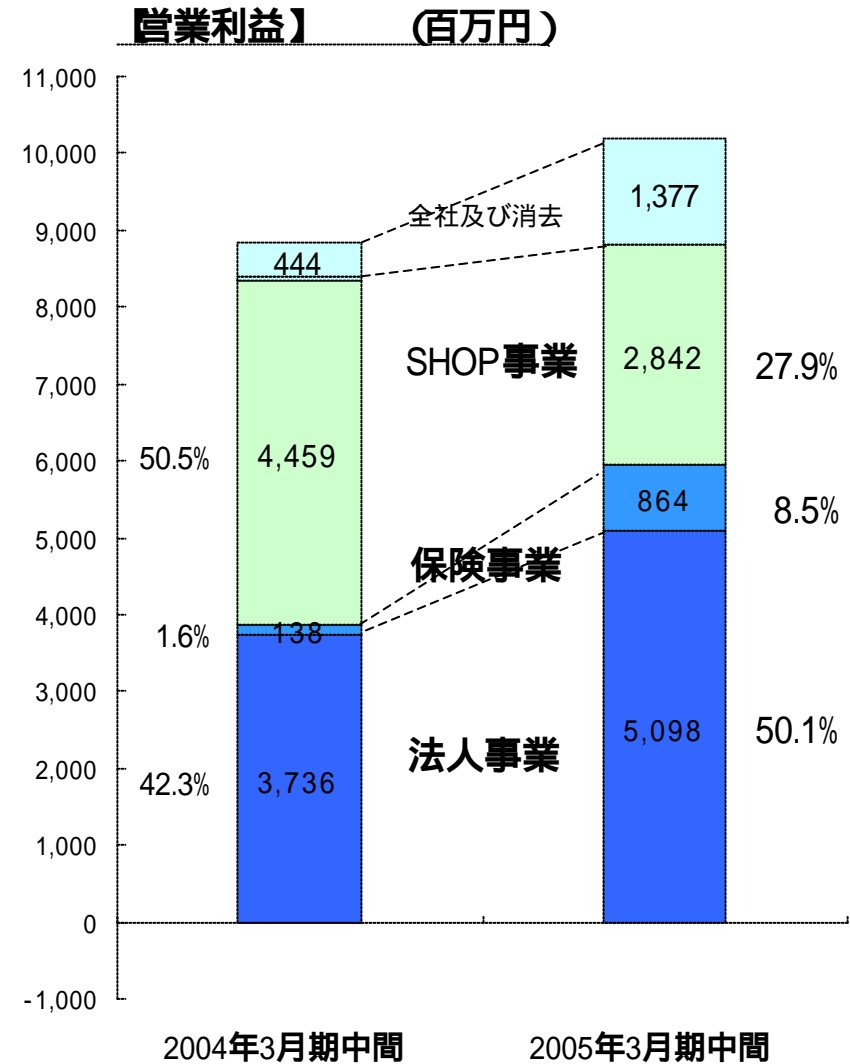
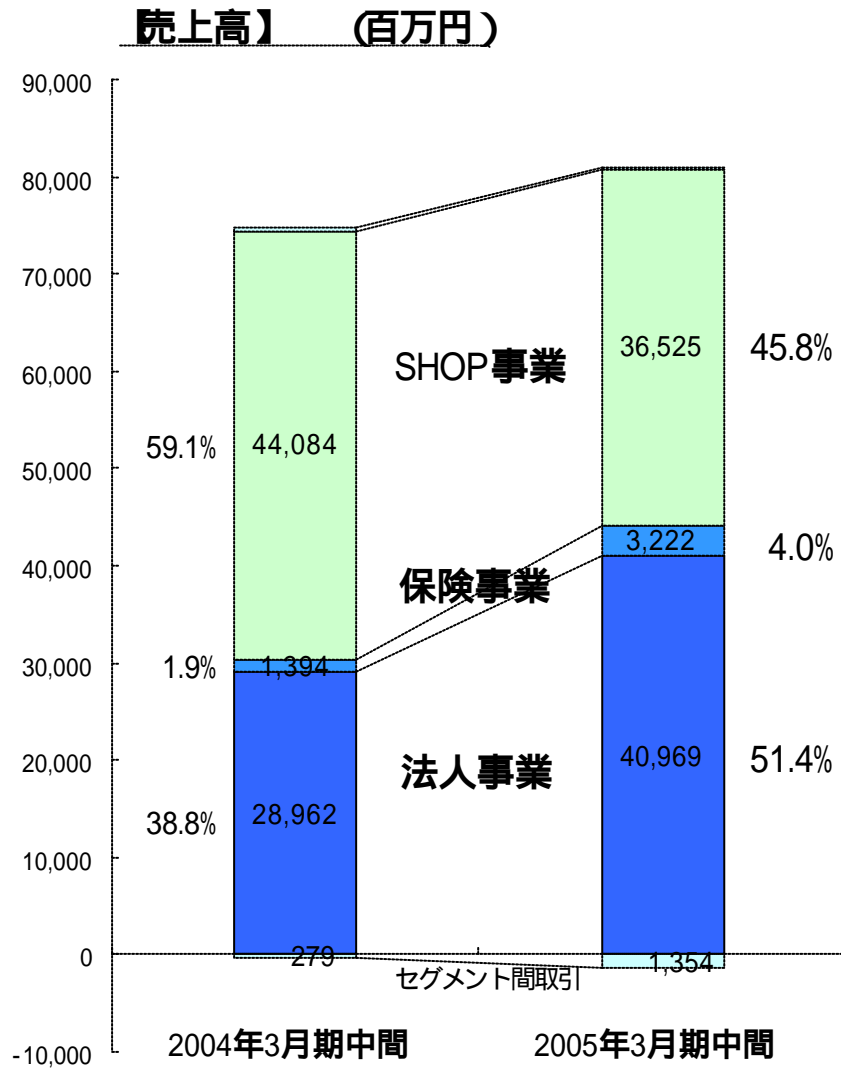
・営業拠点、営業人員の増加により販管費増。  
(正社員数：3,136名 → 3,886名)

・IPOした投資先の売却等により、  
投資有価証券(上場)売却益：52億円

・投資有価証券(未公開)売却損：15億円  
・投資有価証券(未公開)評価損：7億円

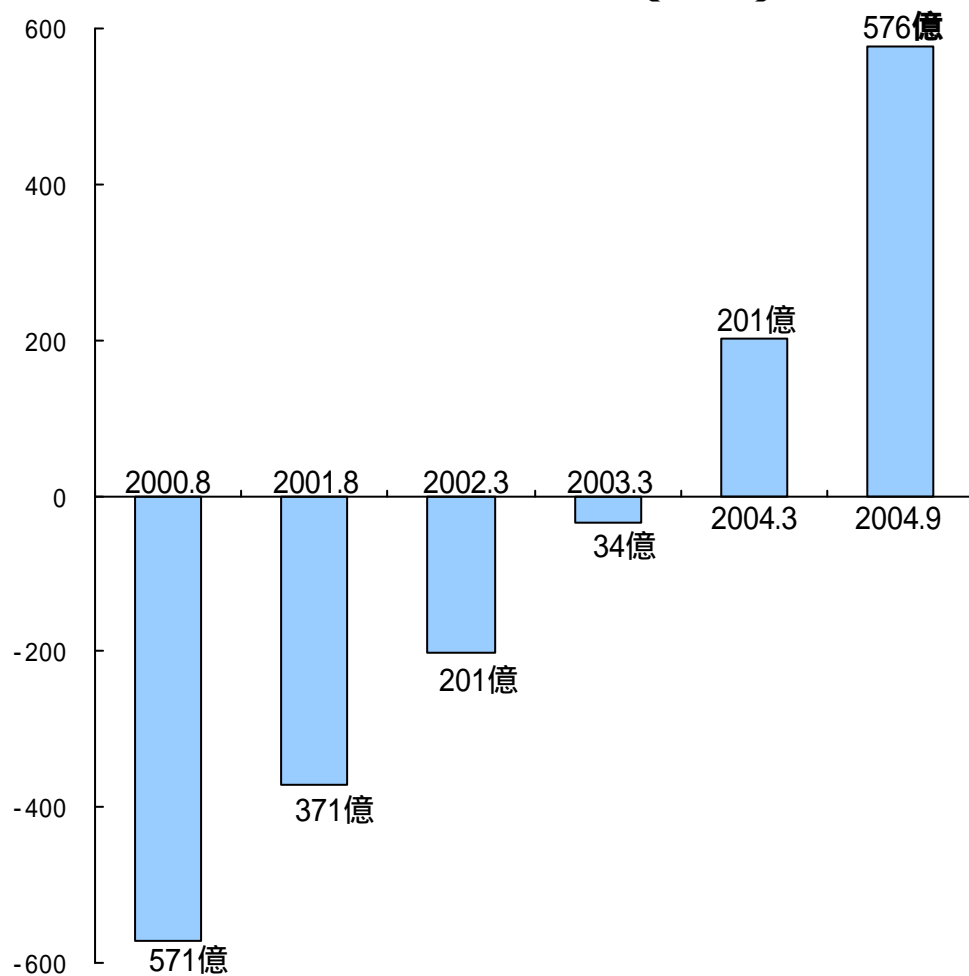
# セグメント情報

法人事業、保険事業が成長を牽引。

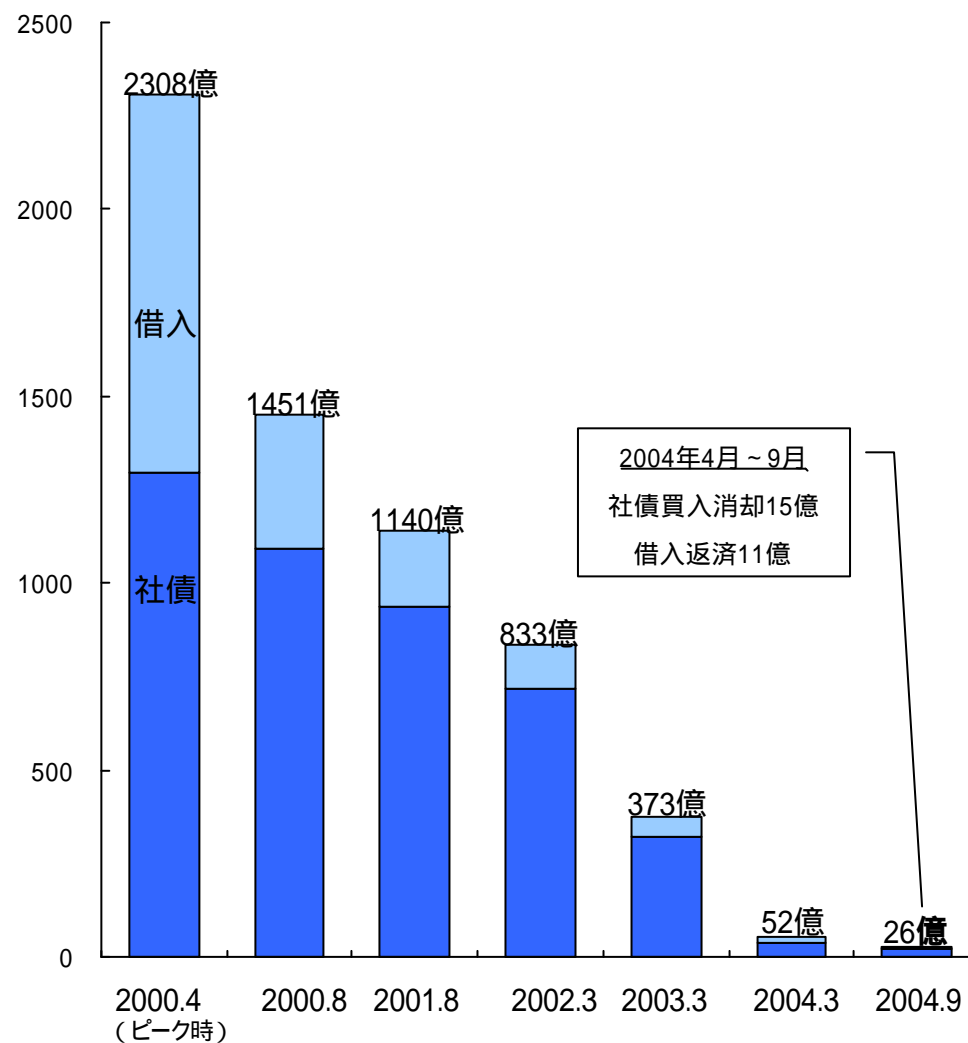


# 手元流動性・有利子負債

【純現金資産の推移】 (億円)



【有利子負債の推移】 (億円)

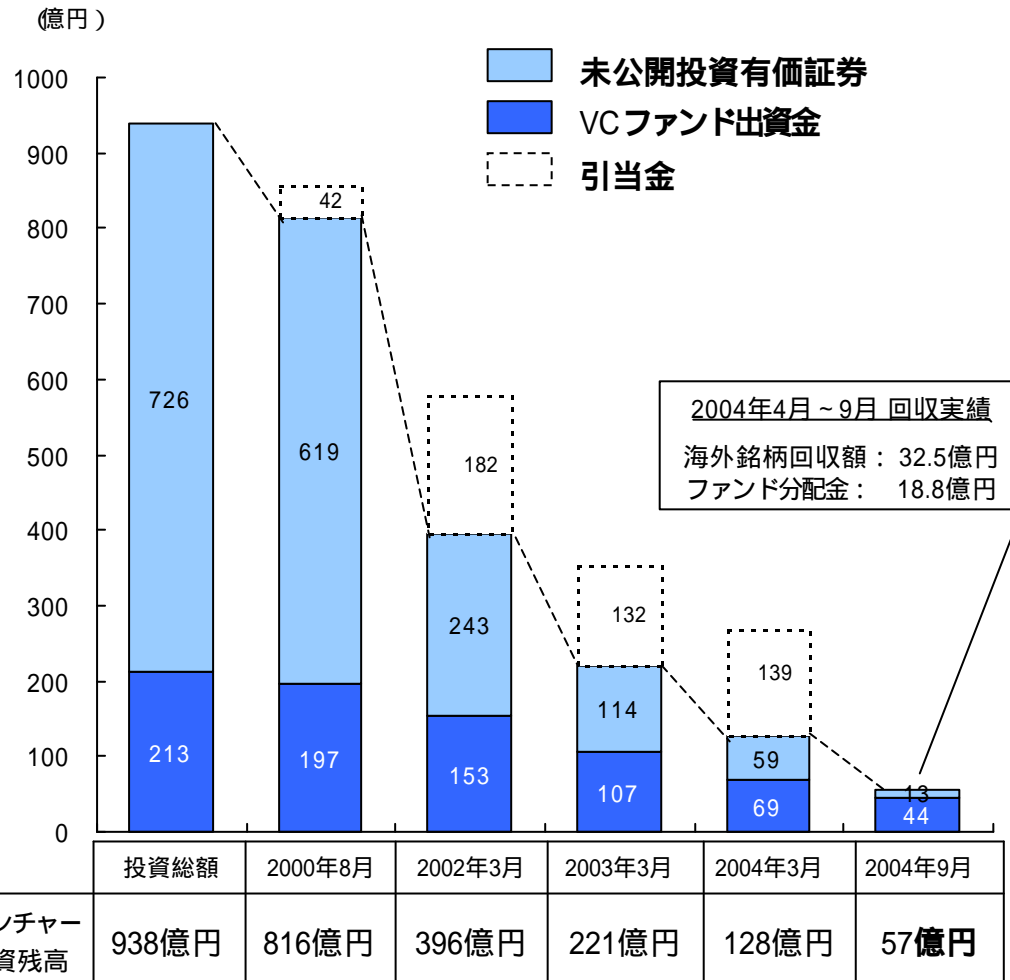


純現金資産 = (現金+上場有価証券時価) - 有利子負債

注) 連結子会社である㈱クレイフィッシュの時価は含まず。

# ベンチャー投資

ベンチャー投資残高57億円。回収率120%。



投資総額	938億円
回収額累計	1,130億円
回収率	120%

( ) 回収額にはIPO銘柄の04年9月末時価を含む。

## 【2004年9月末時点IPO実績 計44社】

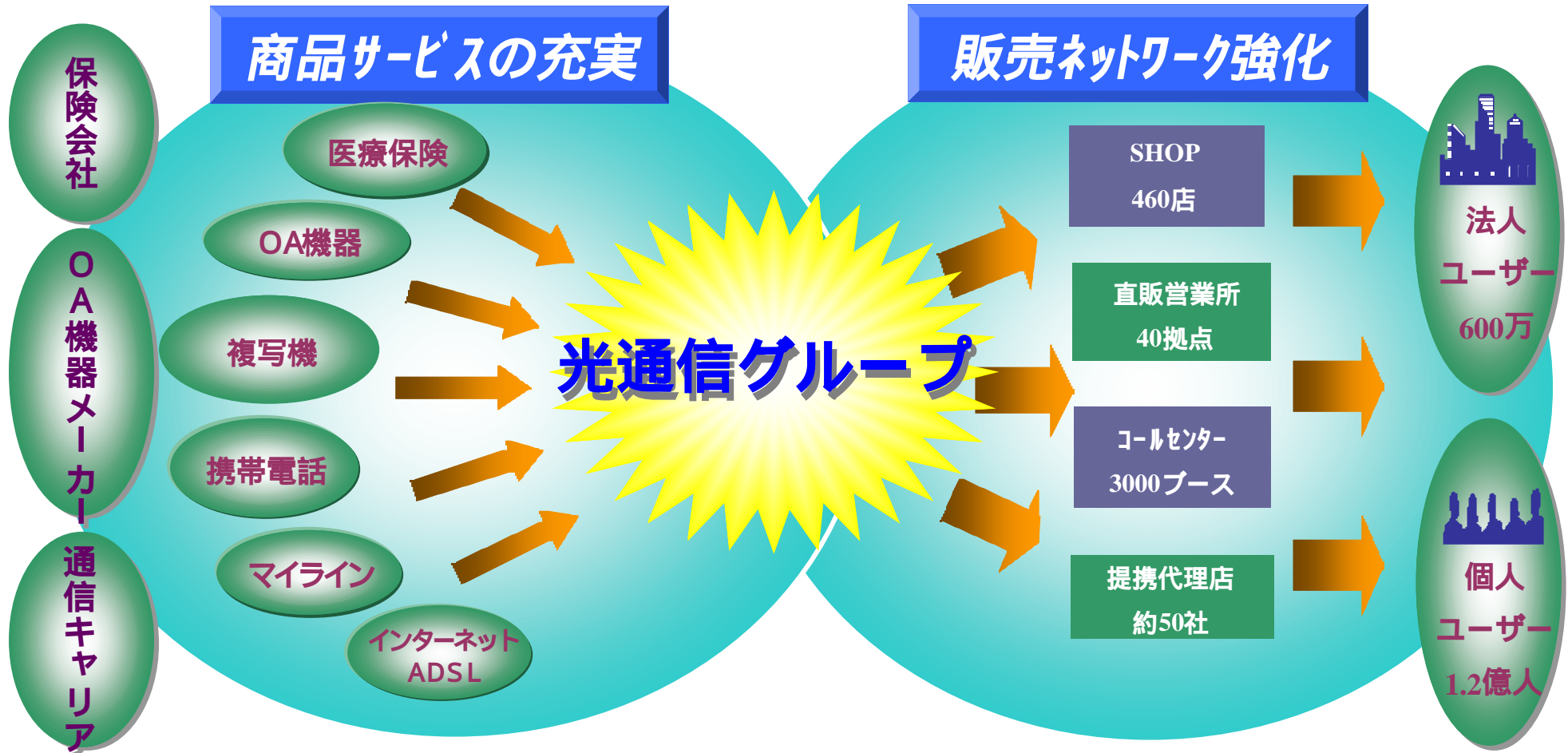
国内	市場	海外	市場
アイ・シー・エフ	マザーズ	Ask Jeeves	NASDAQ
イースター	ヘラクレス	Cash Financial Group	香港
インテリジェンス	JASDAQ	eMachines	NASDAQ
オン・ザ・エッジ (現ライブドア)	マザーズ	FogDog	NASDAQ
エムティーアイ	JASDAQ	Hyunju Computers	韓国
グッドウィル・グループ	JASDAQ	Paypal, Inc. (現eBay)	NASDAQ
クレイフィッシュ	マザーズ	Phone.com (現Openwave)	NASDAQ
グローバルメディアオンライン	JASDAQ	Register.com	NASDAQ
サイバーエージェント	マザーズ	Signalsoft	NASDAQ
スカイパーフェクトコミュニケーションズ	JASDAQ	Sing Pao Media	香港
セブテーニ	JASDAQ	SOHU.com	NASDAQ
ソーテック	ヘラクレス	Tumbleweed Communications	NASDAQ
ディジットブレン	JASDAQ	Vicinity	NASDAQ
デジタルアーツ	ヘラクレス	WebEX Communications	NASDAQ
プライムシステム	ヘラクレス	Sigmatel	NASDAQ
プラネックスコミュニケーションズ	JASDAQ	Sirf Technologies	NASDAQ
フルキャスト	JASDAQ	合計 16社	
京王ズ	マザーズ		
ネクサス	JASDAQ		
その他9社			
合計 28社			



# 事業の状況

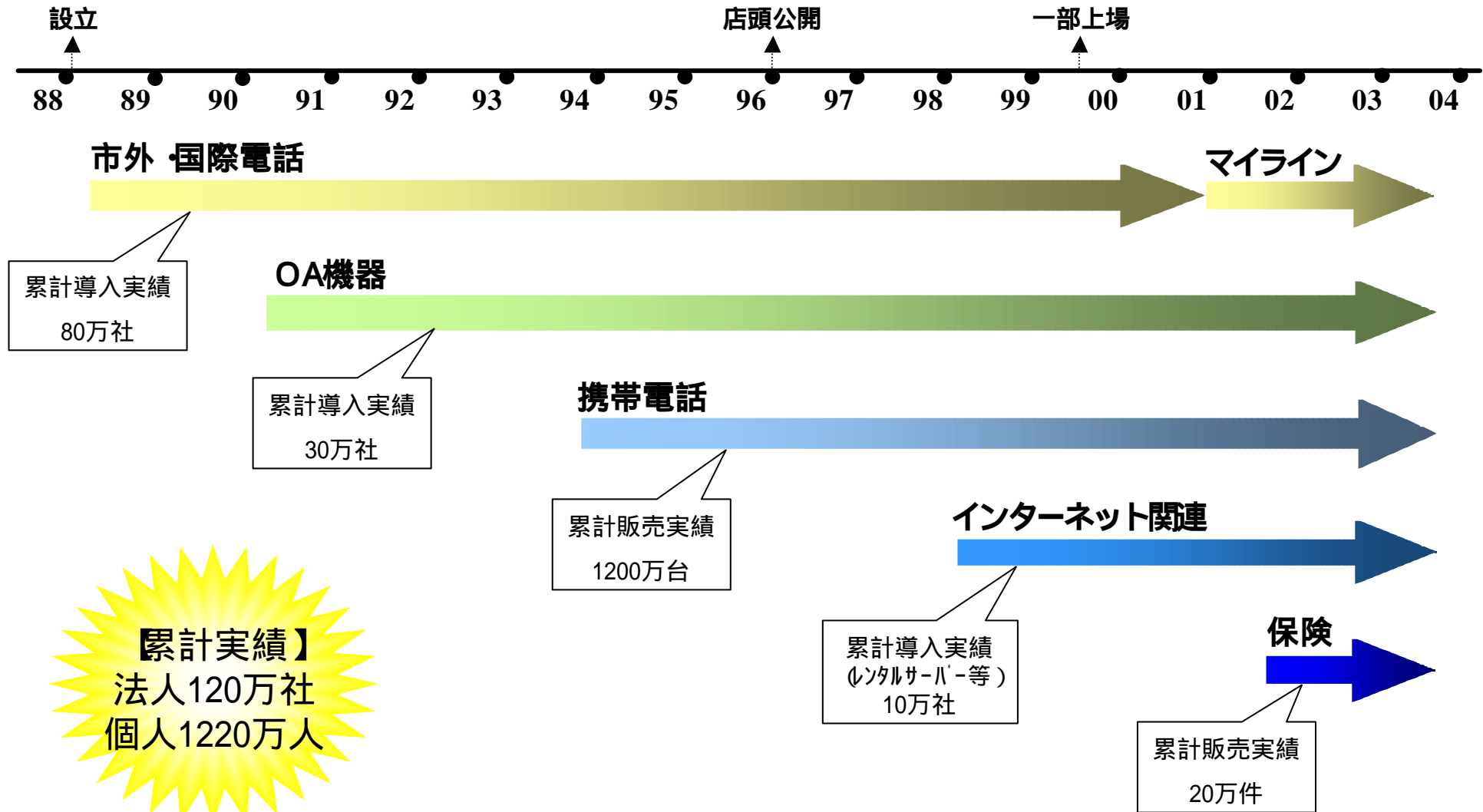
# 光通信グループ事業概要

光通信グループは、  
最も安い販売コスト 最も早く広い普及 最も高い顧客満足度  
を提供するNo1ディストリビューターを目指します。



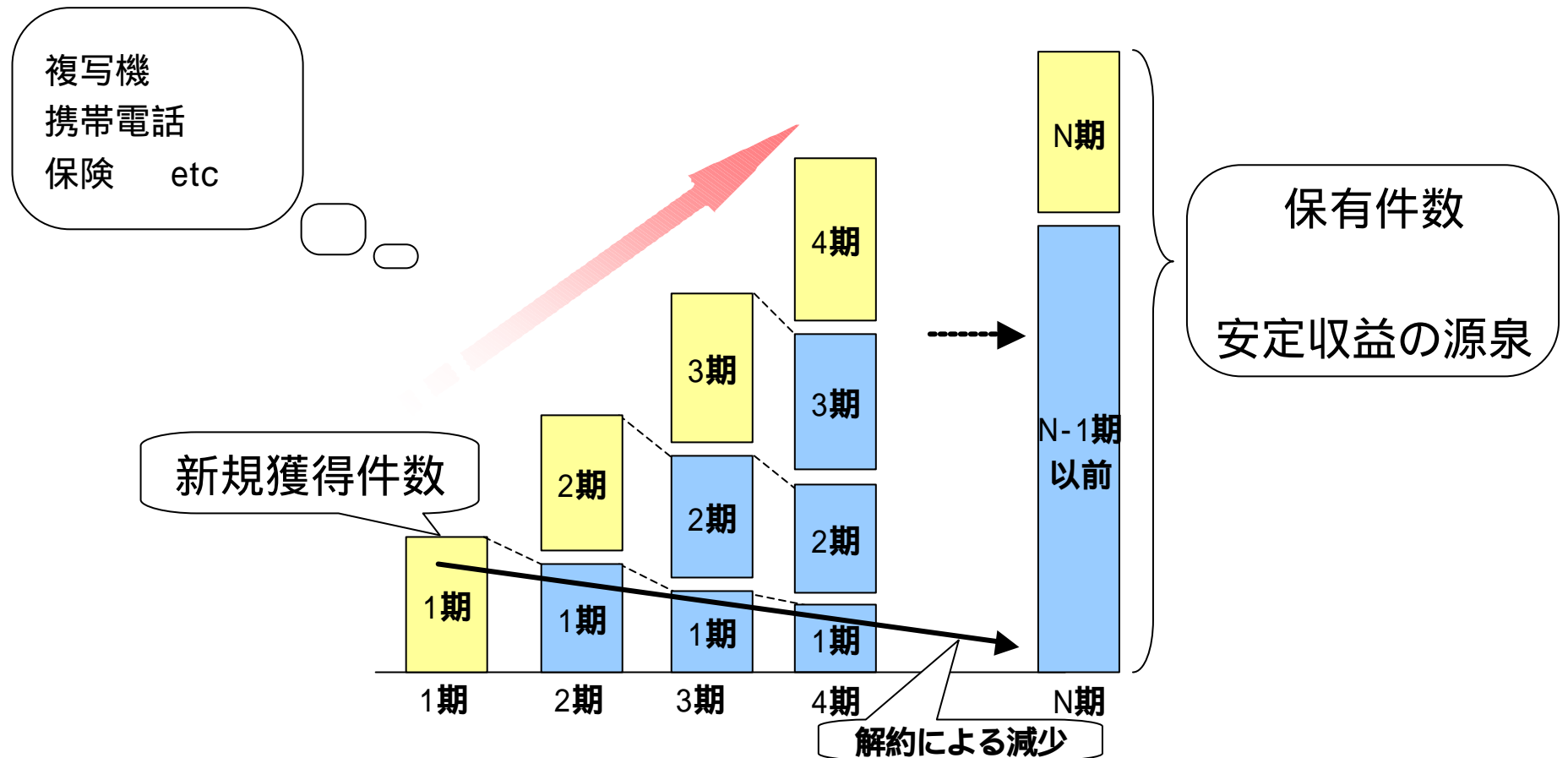
# 沿革・実績

各分野で常にトップレベルの実績。



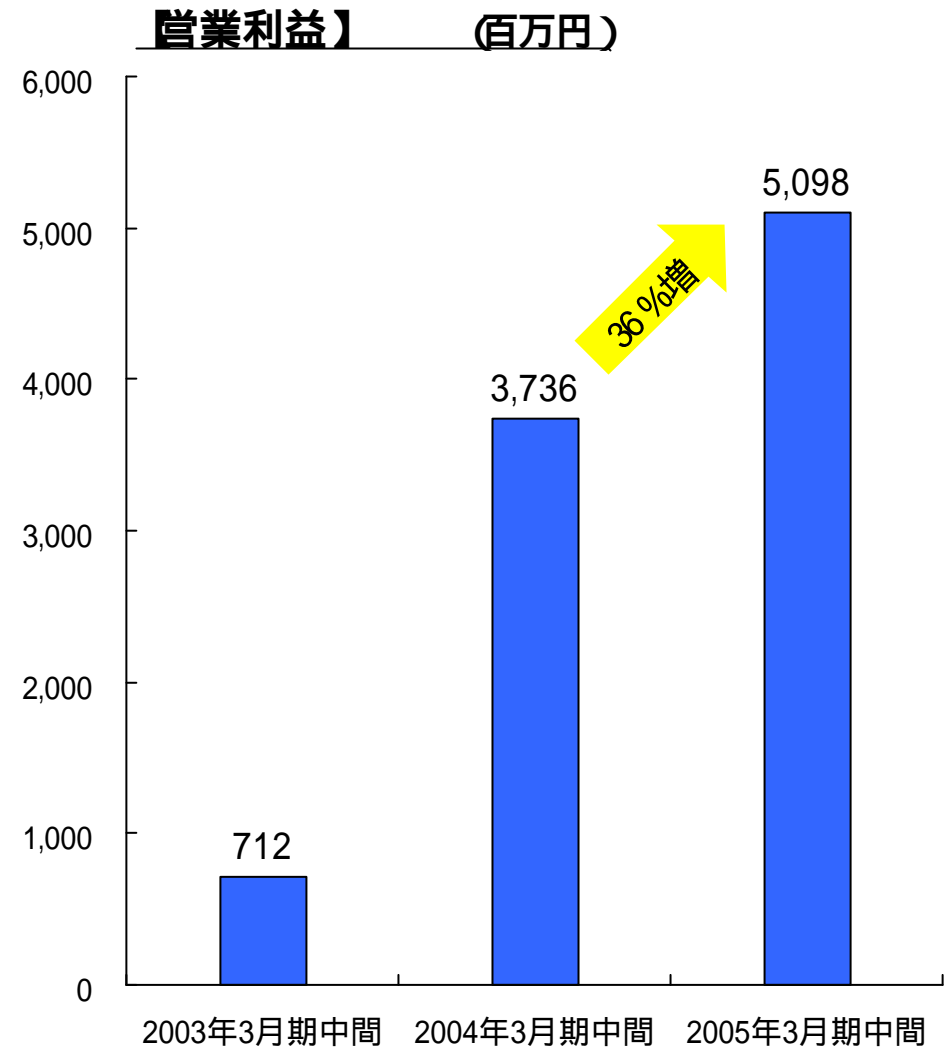
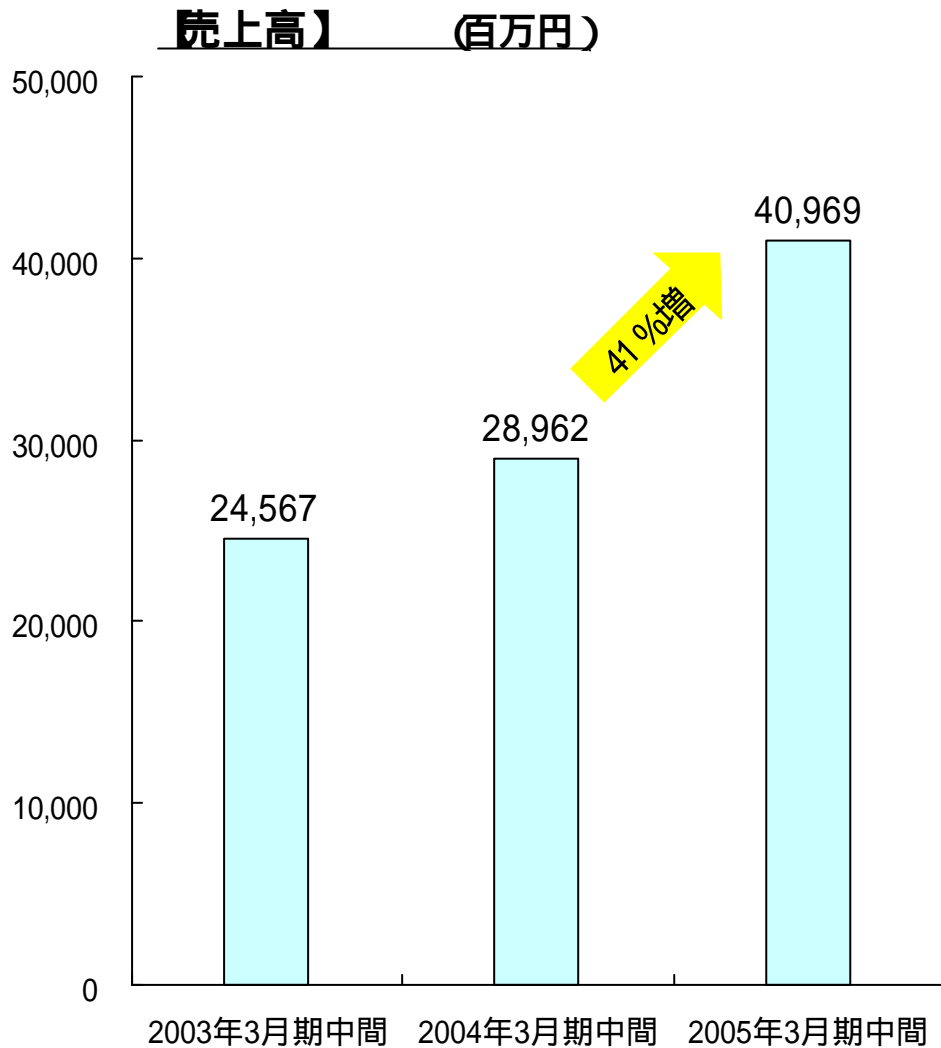
# 基本ビジネスモデル

ストック型ビジネスを中核事業とし、安定的かつ長期的な成長を目指します。



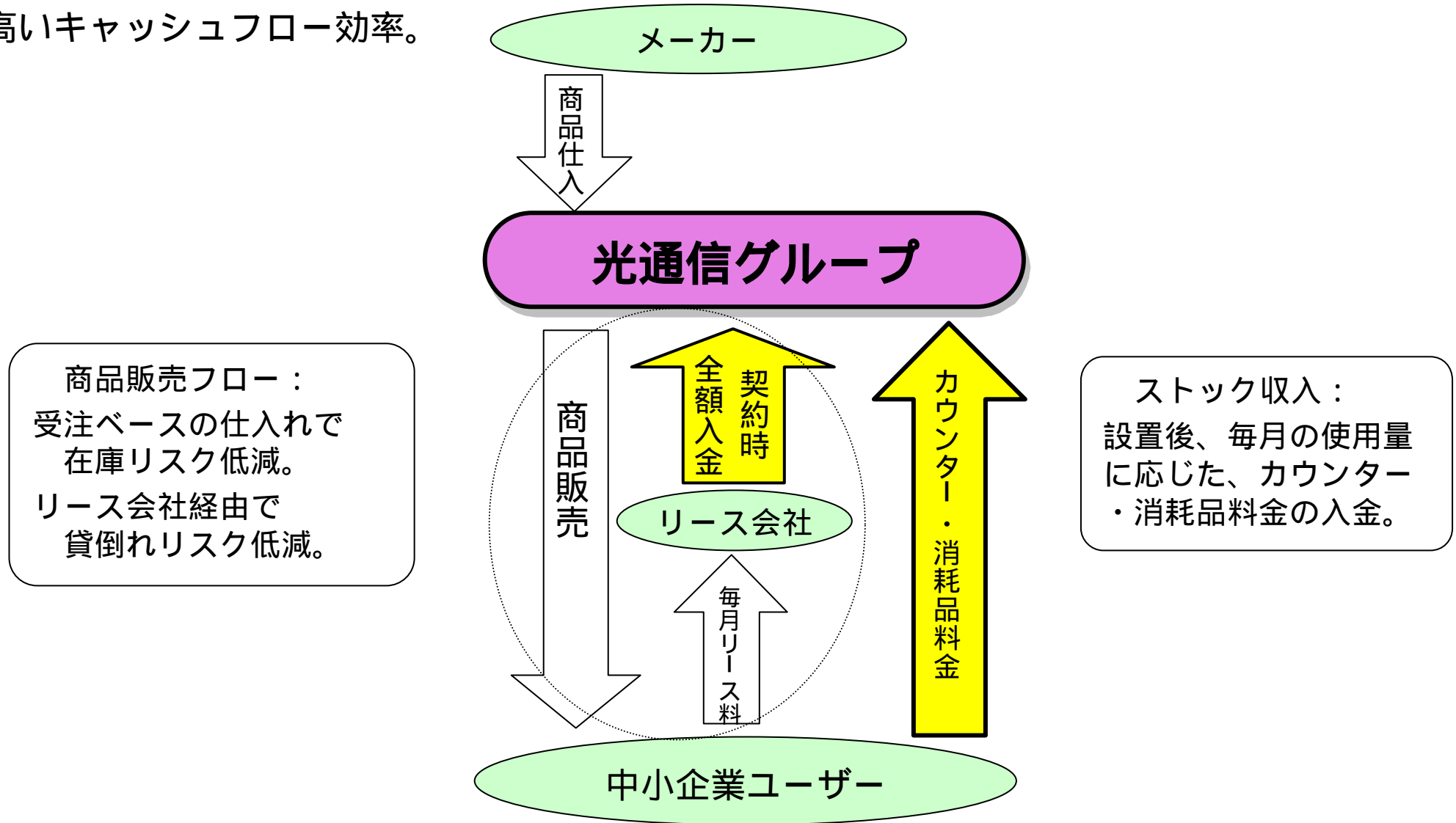
# 法人事業：業績推移

営業利益前年同期比36%増。



# 複写機販売の基本モデル

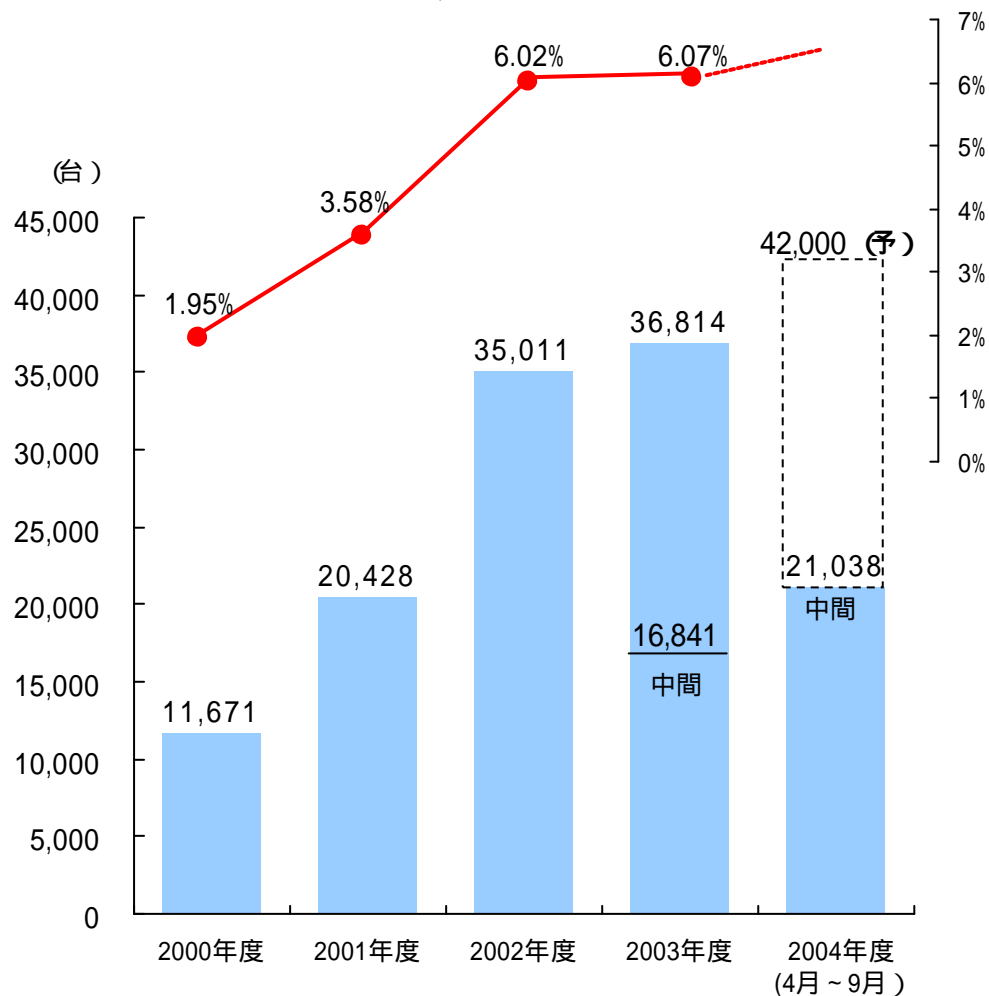
低い運営リスク  
高いキャッシュフロー効率。



# 法人事業：複写機販売状況

順調に推移、国内販売シェアのアップ。

## 販売台数とシェア

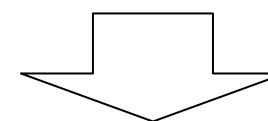


	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度 (4月~9月)
光通信シェア	1.95%	3.58%	6.02%	6.07%	-
光通信台数	11,671	20,428	35,011	36,814	21,038
国内出荷台数	599,429	570,972	581,940	606,926	-

( )国内出荷台数：業務用複写機の出荷台数。

## 台数、シェアともに拡大。

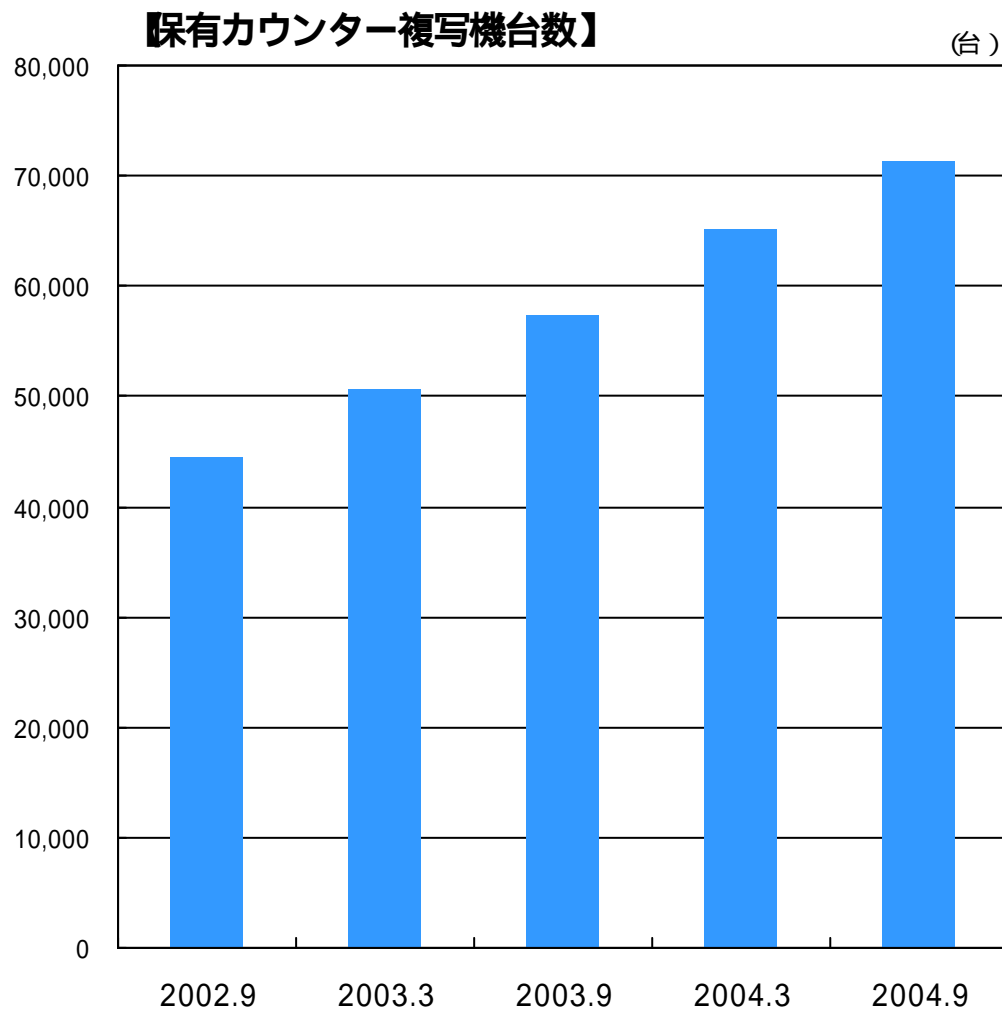
- ・中小企業の独自データベースの活用。
- ・中堅企業向けの提案型営業。
- ・成果主義に基づく、人事制度、報酬制度。



営業競争力の創出

# 法人事業：複写機カウンター & 消耗品

保有台数は順調に拡大。



保有台数拡大中。

販売シェア6%に対して、保有シェア( )は1%程度。

カラー機比率増。

月販の約15%。

固定費抑制、販売に集中。

保守メンテナンスはアウトソーシング。

( ) 当社推定。

中小事業所数6百万 (中小企業白書2004年版より) で平均1台稼働と推定。

## 複写機の基本保守サービス体系：

### カウンター機の特徴

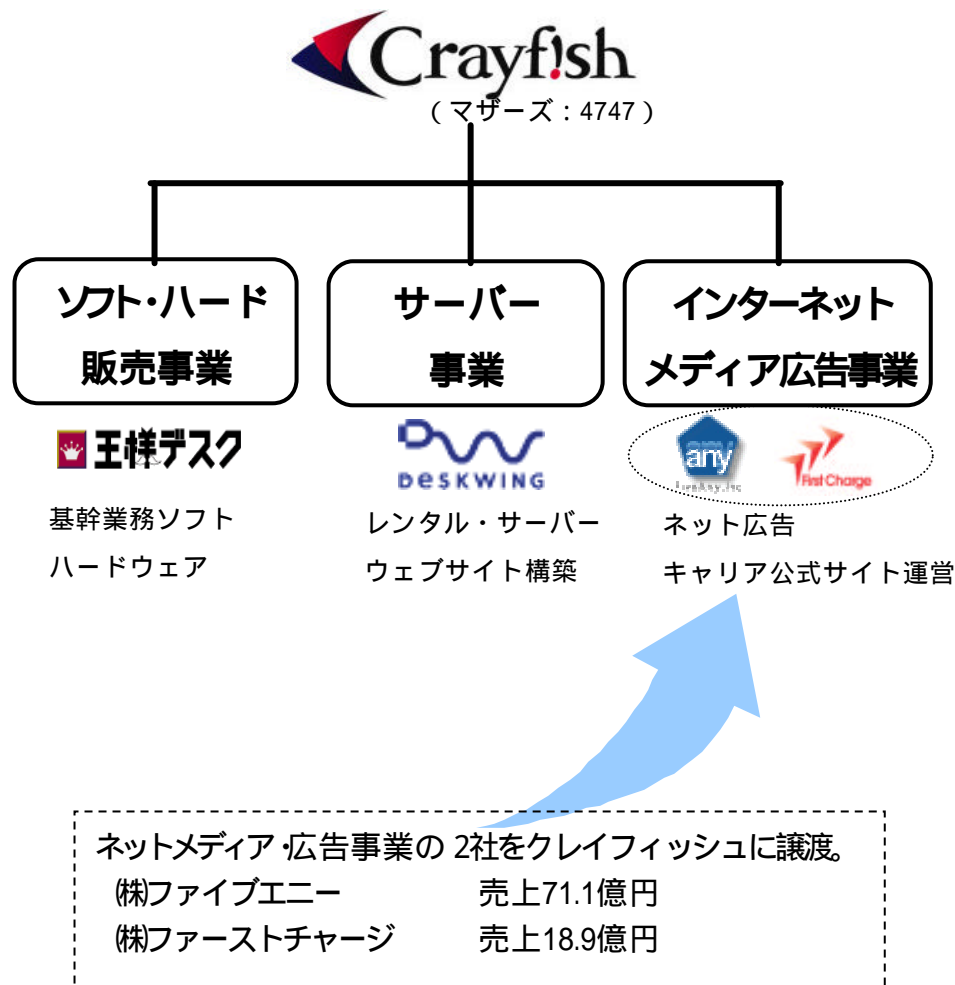
- ・使用量 (カウンター数) に応じて保守メンテナンス料金を定期的に収受。
- ・消耗品 (紙・トナー) は、基本的に無料。

### キット機の特徴

- ・導入時に一定の消耗品を含む。
- ・超過分の消耗品、修理メンテナンスは有料。

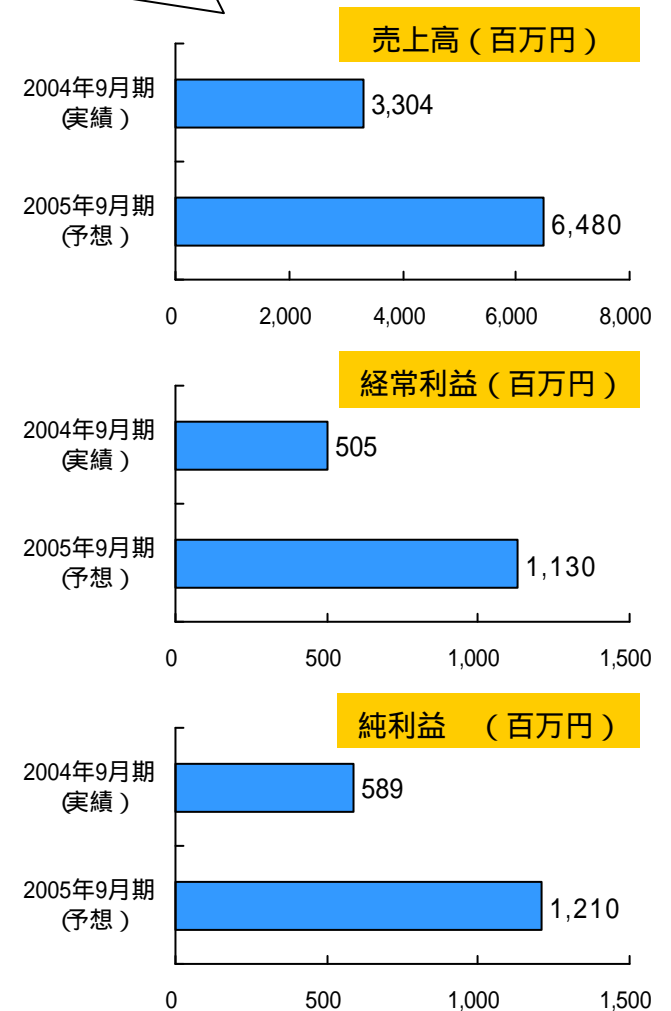
# 法人事業：ネット関連サービス

インターネット関連事業を、(株)クレイフィッシュに集約。



シナジーの追求。 インターネット部門の透明化。

【(株)クレイフィッシュ 実績 & 予想】



# 保険事業：事業概要

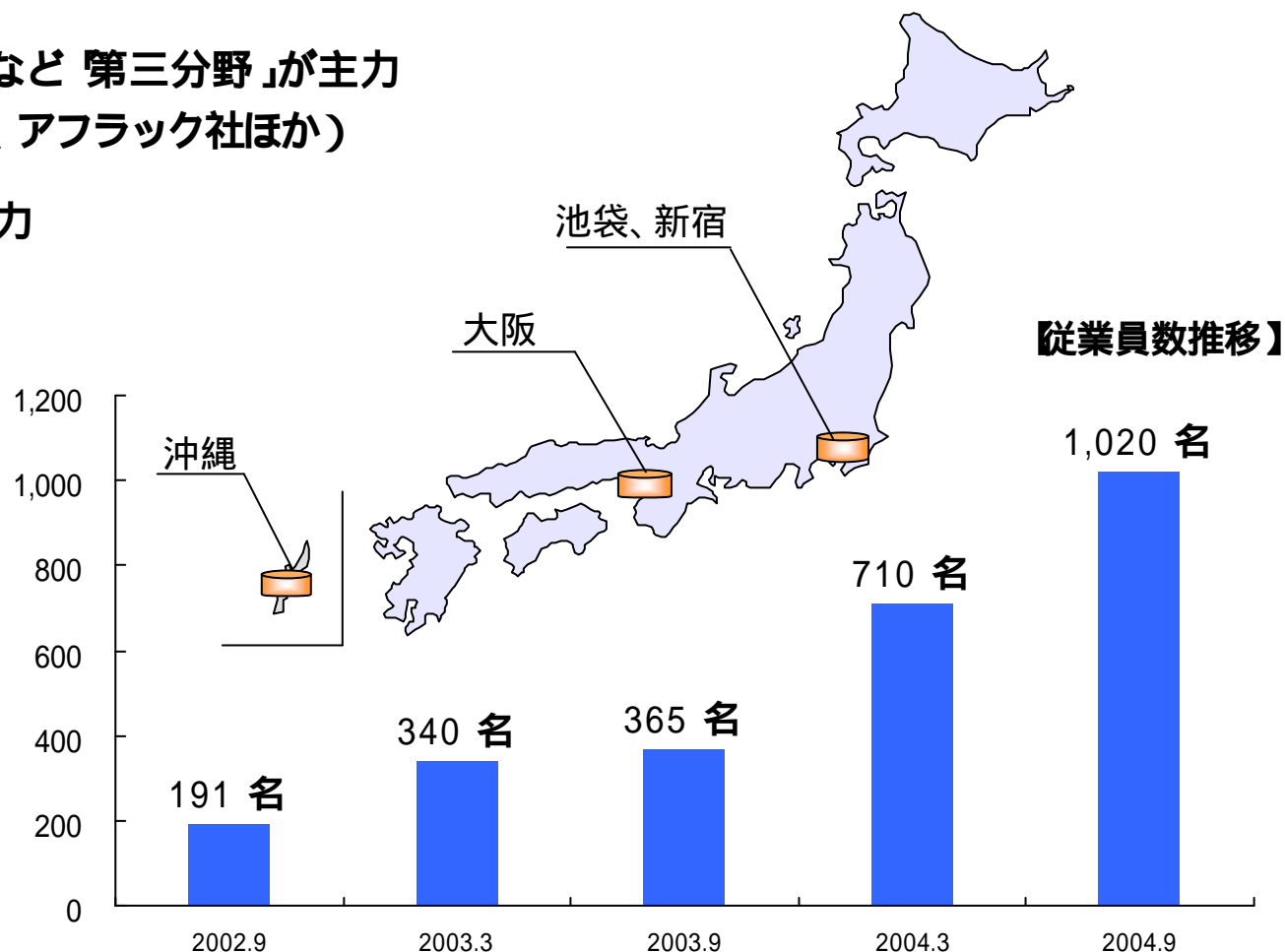
## テレマーケティングによる保険契約獲得事業

・コールセンター： 池袋、新宿、大阪、沖縄

・従業員数： 1020名 (9月末)

・取扱い保険： 医療保険など「第三分野」が主力  
(アリコ社、アフラック社ほか)

・対象顧客： 個人が主力



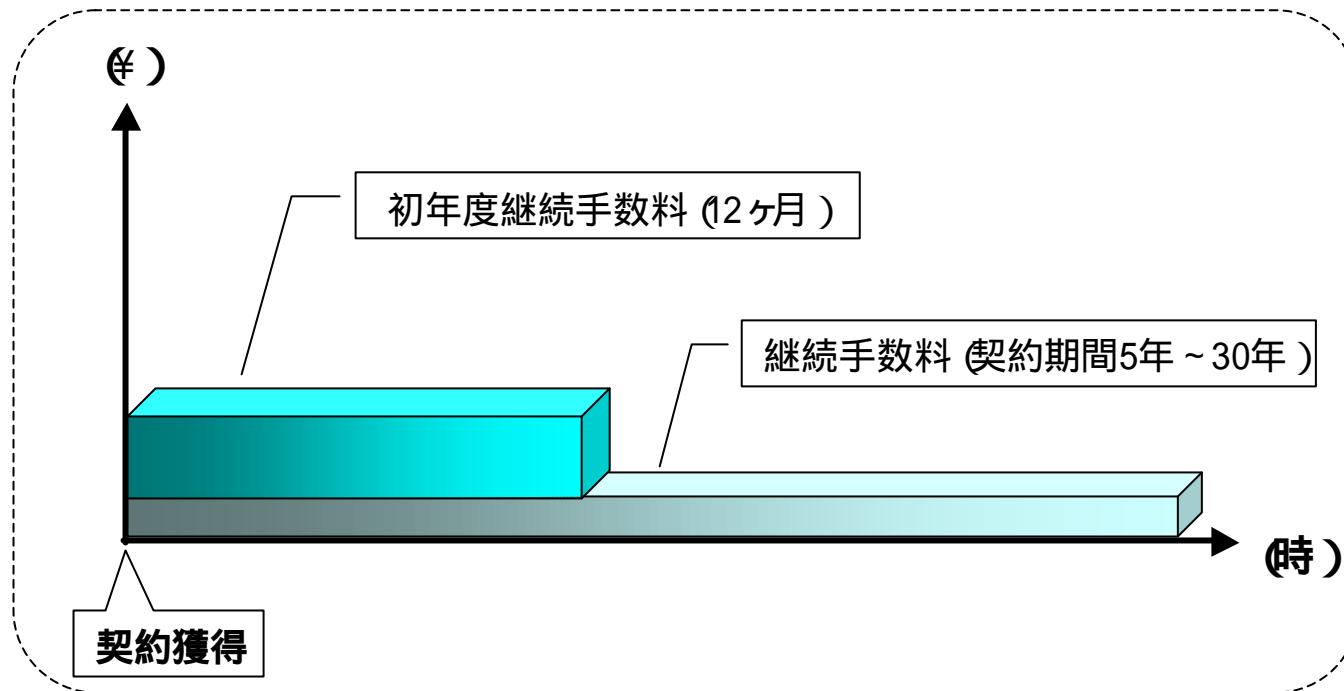
# 保険事業：基本モデル

## 将来収入を積上げるストックビジネス

代理店事業： 手数料は ANP (年換算新契約保険料) に対する一定比率で算出される。

業務委託事業： コールセンター業務の委託手数料を受取る。

### 【基本的な代理店事業の収益モデル】



#### 保険用語解説：

##### 第三分野保険

「第一分野」は、死亡時の保障を重視する生命保険。終身保険や定期保険など。

「第二分野」は、事故等によって生じる損害を補填する損害保険。自動車保険や火災保険など。

「第三分野」は、上記以外の保険のことで、医療保険、ガン保険、傷害保険など。死亡時ではなく、生きている間の保障を重視。2001年に自由化され、生命保険会社、損害保険会社ともに扱えるようになった。

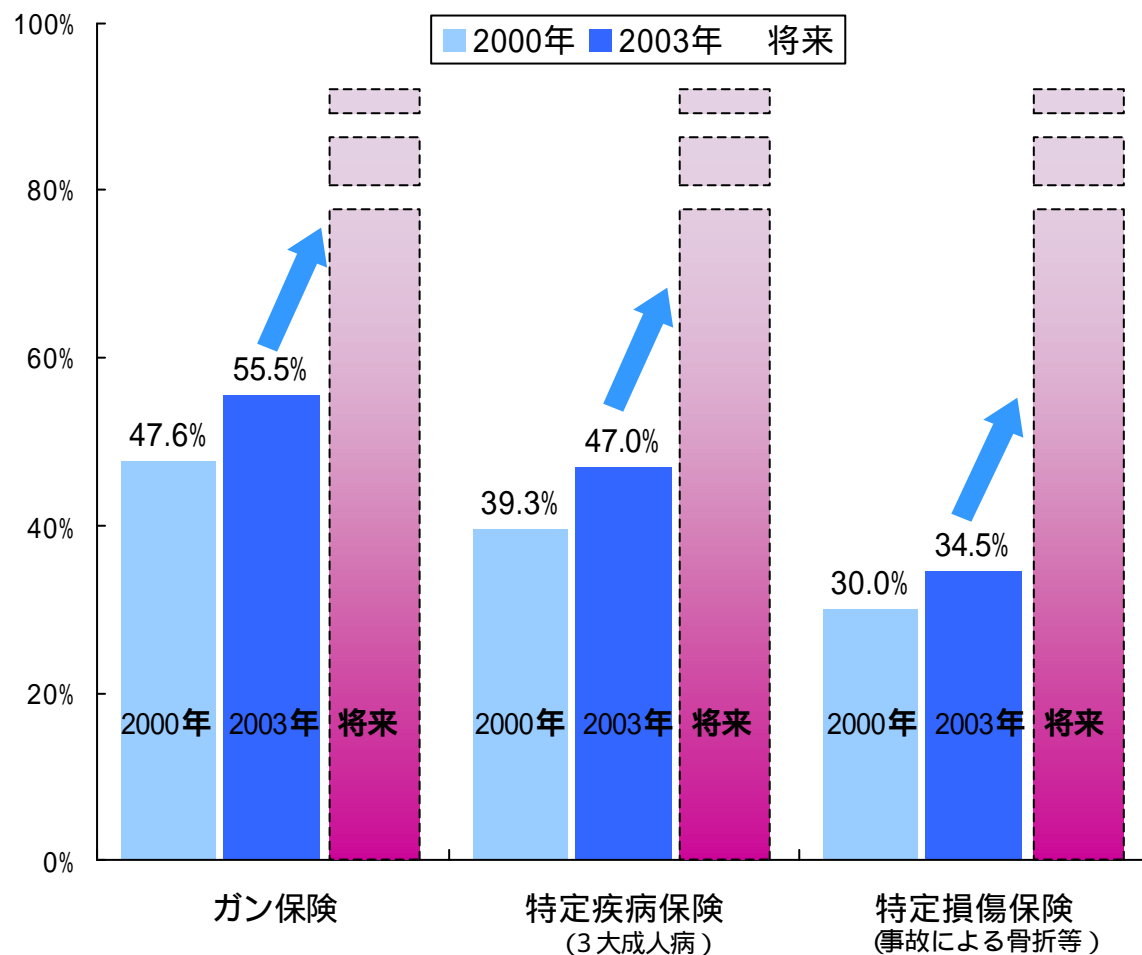
##### ANP (年換算新契約保険料)

Annualized New Premiumの略で、新規契約の保険料を年換算した額。契約を獲得すれば、安定的な保険料収入が見込めるため、ANPは将来収入を予測するための重要な経営指標として保険業界で使用されている。

# 保険事業：市場環境

医療保障型保険（第三分野）の普及はこれから。

【マーケット動向：世帯普及率の推移】



全国 4900万世帯への加入促進

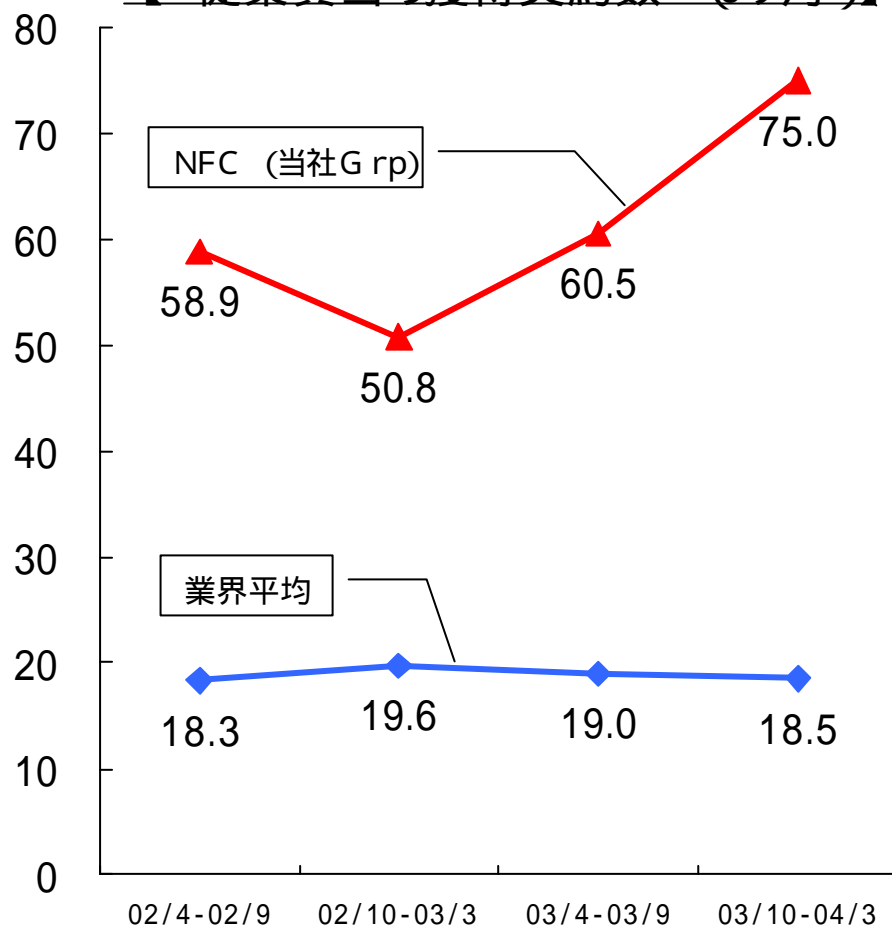
市場環境も追い風

- ・長寿、高齢化
- ・少子化、共働き
- ・医療費自己負担増加

# 保険事業：強み・特色

業界随一の高い生産性。

【従業員当り獲得契約数（6ヶ月）】



## アウトバウンド・テレマーケティング

- ・対面営業なし、効率営業。
- ・データベースシステムの活用。

## コールセンター運営の高いノウハウ

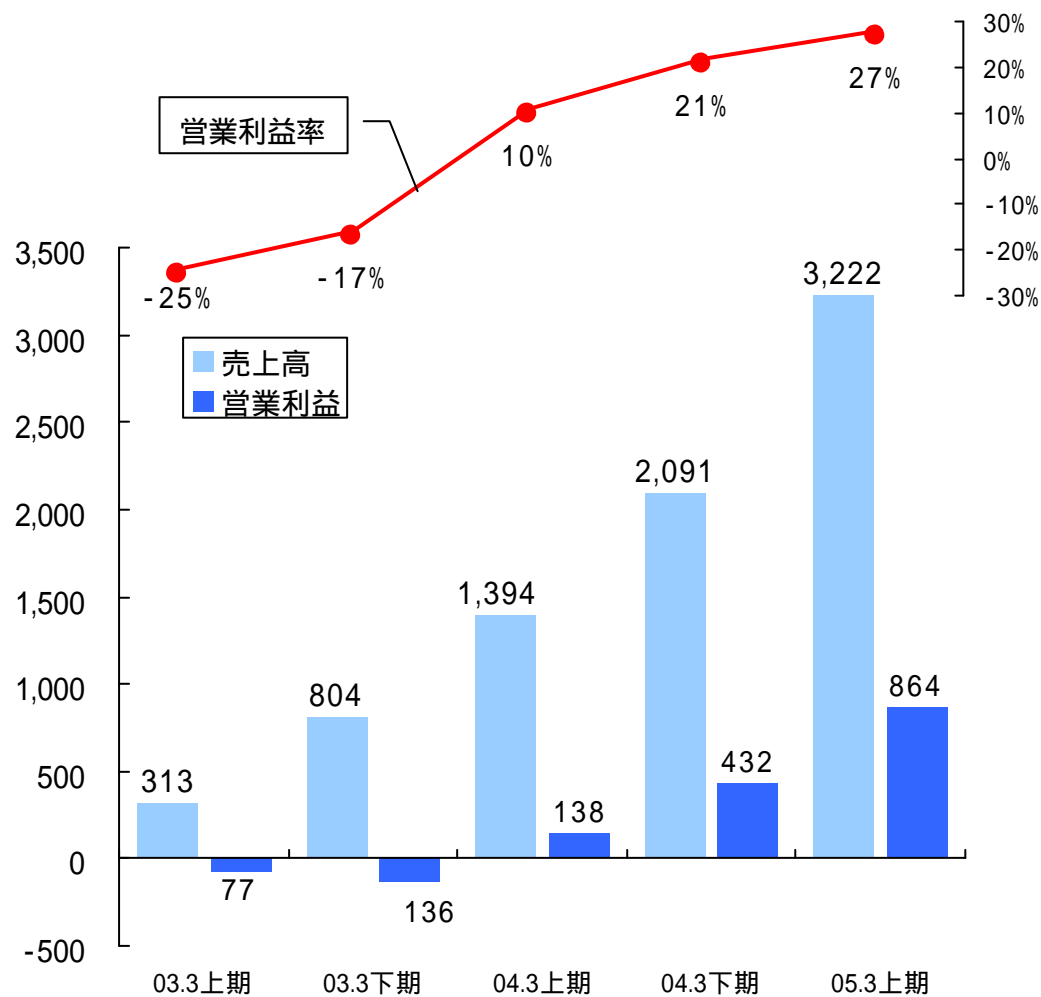
- ・人材獲得、教育のノウハウ。
- ・高いコンプライアンス遵守体制。  
(セキュリティシステム、通話ログ)
- ・生産性・営業士気を維持する仕組み。  
(人事制度、報酬制度、管理体制)

業界平均：当社推定。 個人生命保険の年間新規契約数と登録生命保険募集人数から算定。

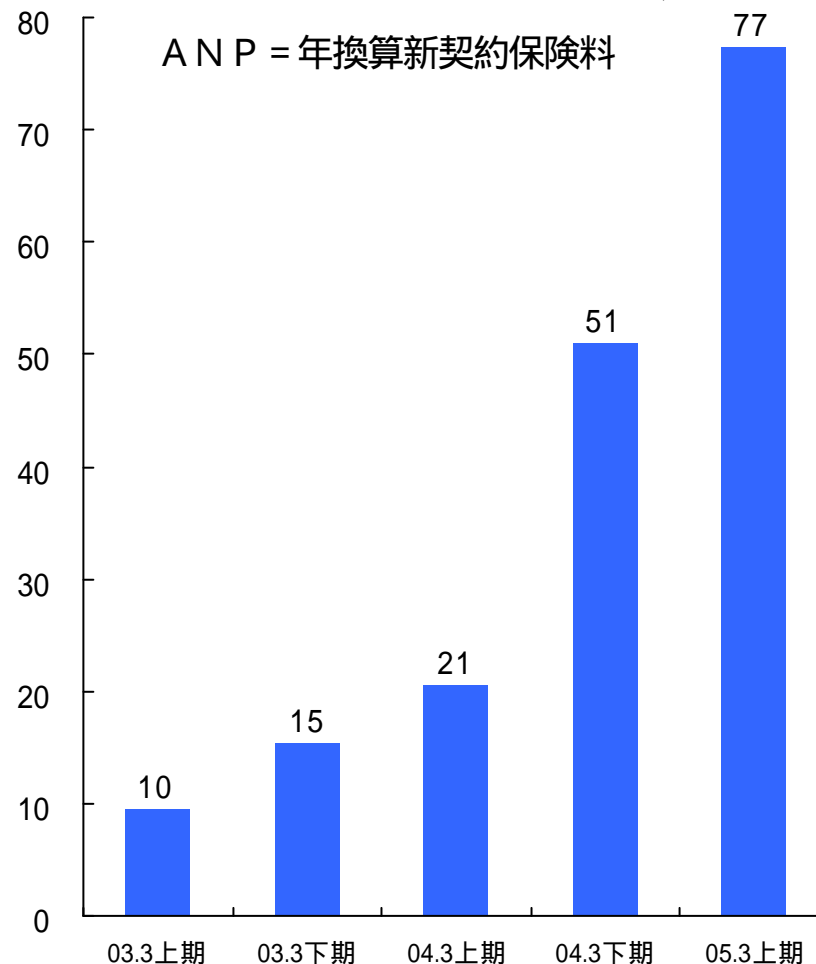
# 保険事業：業績推移

急拡大中、利益率も改善。新たなグループ中核事業に成長。

【業績推移】 (百万円)



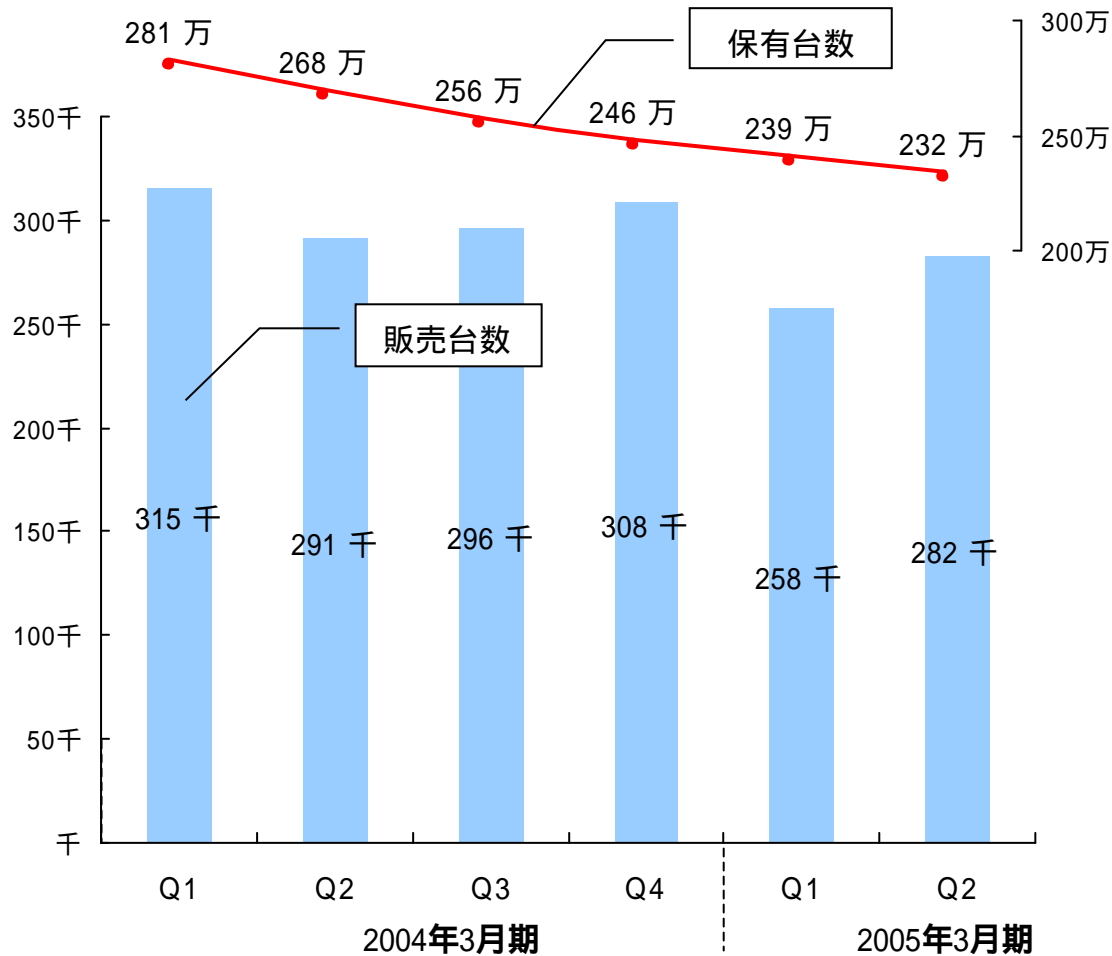
【新契約ANP推移】 (億円)



( 新契約ANPは、当社が契約申込みを取次いだベースであり、実際には、成立率や解約率などにより変動します。 )

# SHOP事業

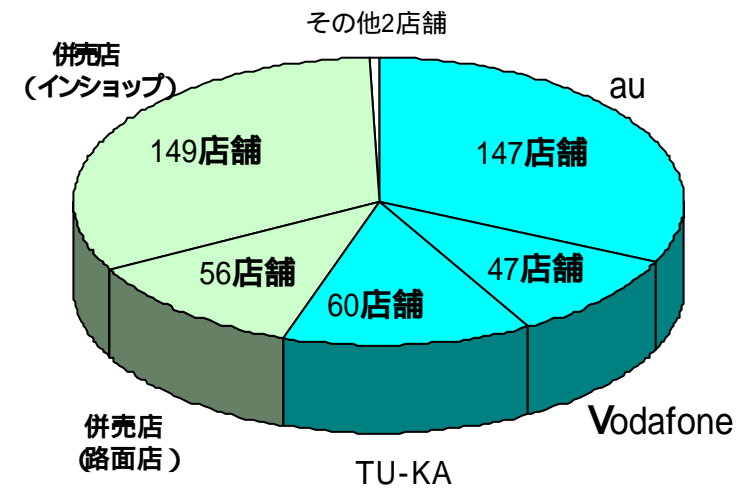
【携帯電話販売台数 四半期毎の推移】 (台)



## 安定的なキャッシュカウ・ビジネス

- ・ユーザー使用料の一定割合のストック収入。
- ・店舗数は安定。

【店舗内訳 :461店舗 (9月末)】



# 連結業績予想の修正

## 【2005年 3月期連結業績予想】

(億円)

	今回予想 (2004.11.16公表)	前回予想 (2004.8.10公表)		前期実績	
	通期	増減	通期	増減	通期
売上高	1,600	+ 50 + 3.2%	1,550	+ 140 + 9.6%	1,459.9
営業利益	205	+ 25 + 13.9%	180	+ 34 + 20.2%	170.6
経常利益	260	+ 60 + 30.0%	200	+ 64 + 32.5%	196.2
純利益	155	+ 35 + 29.2%	120	+ 49 + 46.0%	106.2

営業外損益・特別損益に影響を与える投資有価証券の売却損益および時価評価に関する今後の計画及び予想は、市場環境や経済情勢等による影響が大きく予想が困難なため、予想数値には反映しておりません。従来同様、重要な変化が生じた場合、速やかに開示してまいります。

## 本資料に関するご注意

本資料に記載されている光通信の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な  
情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみ全面的に依拠することはお控え頂くようお願い  
致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく  
異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、これらの見通しに関しては、  
光通信の経営者の判断により、変更される可能性があります。

本資料に関する御問い合わせ：

(株)光通信 財務部IR・広報課 TEL 03-5951-3718 FAX 03-5951-3709

E-mail: [info@po.hikari.co.jp](mailto:info@po.hikari.co.jp)



# 補足資料

# 連結貸借対照表

(百万円)

	2003/9末	2004/3末	2004/9末
流動資産	51,641	39,743	67,977
現預金	30,613	11,446	38,623
売掛金	14,794	20,609	18,428
商品	2,378	2,209	2,552
その他流動資産	3,856	5,479	8,374
固定資産	61,608	61,325	60,603
有形固定資産	5,355	5,276	6,380
無形固定資産	2,156	1,885	1,905
投資有価証券	25,821	33,596	25,396
出資金	8,838	6,945	4,493
破産債権等	6,723	5,165	931
繰延税金資産	22,901	18,689	15,292
その他固定資産	7,518	7,438	8,542
投資損失引当金	10,793	12,166	647
貸倒引当金	6,914	5,505	1,691
総資産	113,250	101,068	128,580

(百万円)

	2003/9末	2004/3末	2004/9末
流動負債合計	45,624	25,193	38,448
買掛金	11,442	14,162	13,425
一年以内返済借入	2,366	1,719	614
一年以内返済社債	23,947	200	200
前受金			13,540
その他流動負債	7,869	9,112	10,669
固定負債合計	4,388	3,485	12,571
長期借入	614	4	0
社債	3,600	3,300	1,800
長期前受金			10,604
その他固定負債	174	181	167
負債合計	50,013	28,678	51,020
少数株主持分	457	642	824
資本合計	62,779	71,748	76,736
負債、少数株主持分及び資産合計	113,250	101,068	128,580

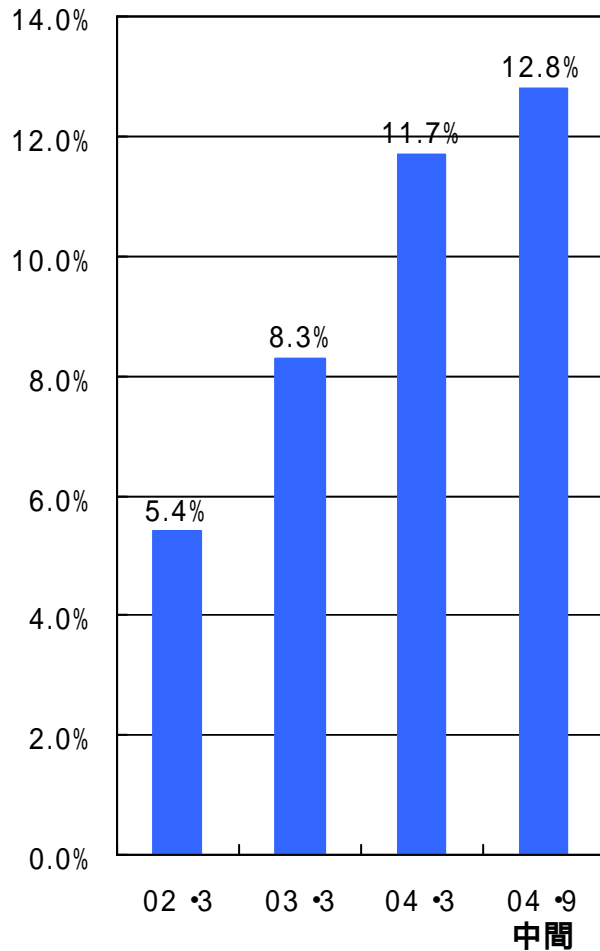
# キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2004年3月期 中間	2004年3月期 通期	2005年3月期 中間
営業活動による キャッシュ・フロー	9,284	15,010	33,327
投資活動による キャッシュ・フロー	1,513	2,115	1,828
財務活動による キャッシュ・フロー	11,354	36,555	4,909
現金及び現金同等物 期末残高	29,061	10,337	36,965

# 主な経営指標

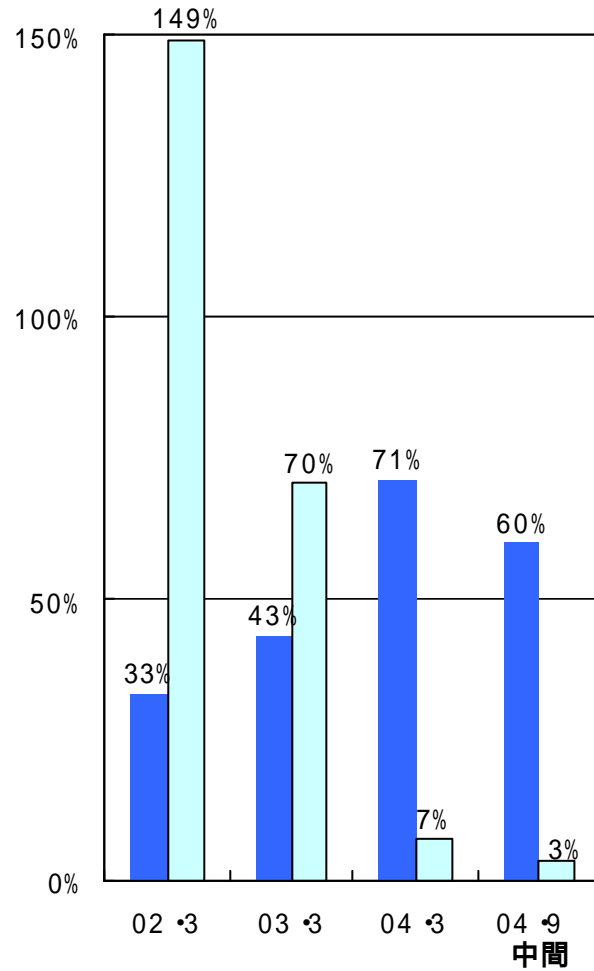
営業利益率



・営業利益率の改善。

自己資本比率

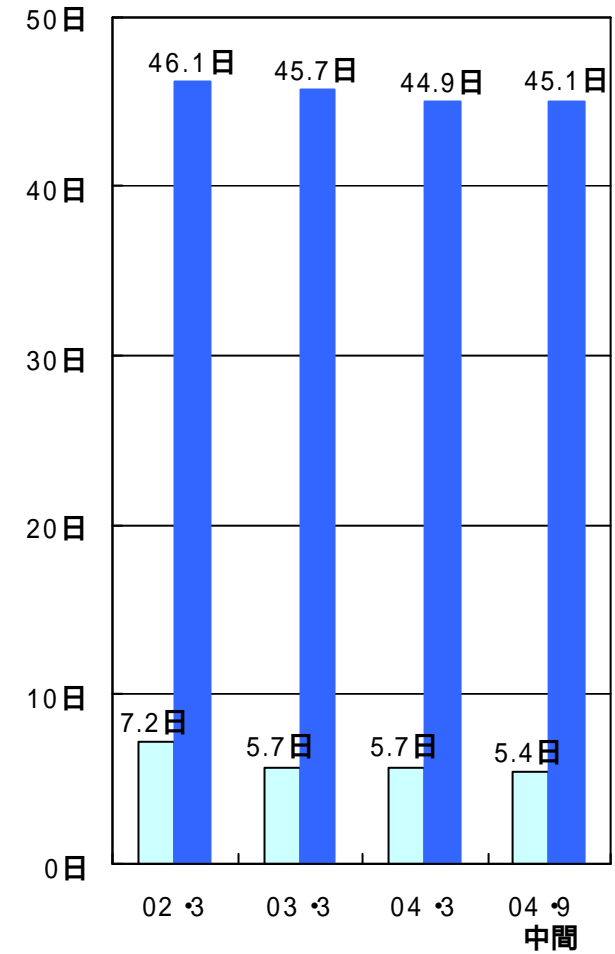
有利子負債比率



・有利子負債削減により  
財務体質大幅改善

債権回転期間



在庫回転期間

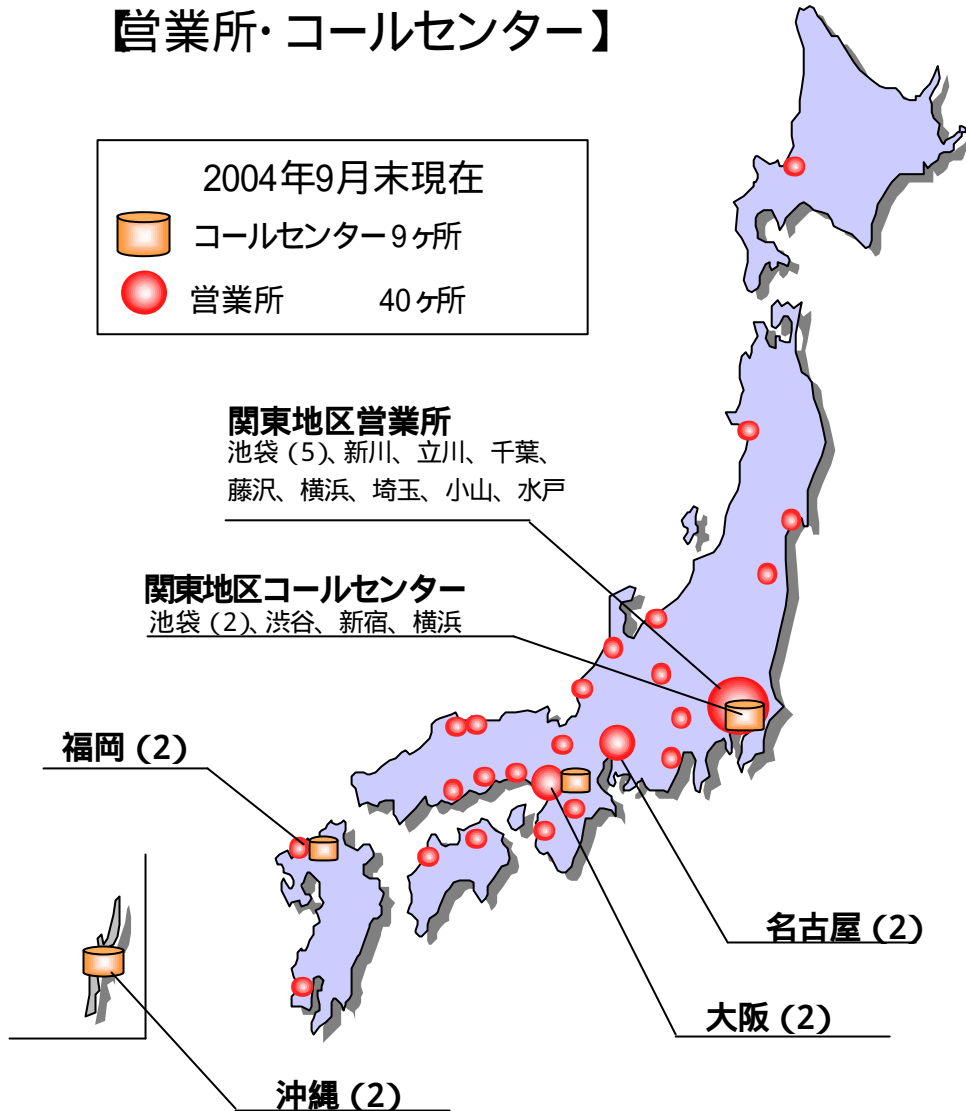


・在庫リスク・回収リスクは  
低水準で安定。

# 全国営業所 & SHOP

## 【営業所・コールセンター】

2004年9月末現在  
 コールセンター 9ヶ所  
 営業所 40ヶ所



## 【SHOP】

2004年9月末現在  
 461店舗  
 (単位 : 店)

